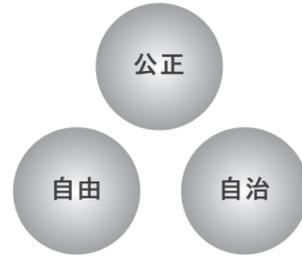


建学の精神“公正”“自由”“自治”を活かしながら新たな発展へ

本学は、“工業教育の理想”を求める学生たちが中心となって創設された、日本においてきわめて稀な、学生の熱意が創り上げた大学です。この建学の精神は、独立自主の思い溢れる学生たちが掲げた、夢と希望のシンボルです。東京都市大学は、この優れた精神を継承しながら、新しい時代と社会の要請に応える大学へとさらなる進化を遂げます。

教育理念

ボーダーを超えて、学生と教職員が共に考え、学び、行動することで社会に貢献できる人材を育てる



本学のキャリア形成サポートの特徴

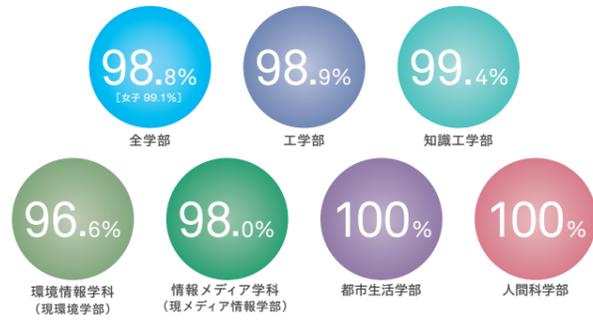
独自の教育プログラム

本学で学んだ一人ひとりが社会で活躍するための様々な制度・取り組みを用意しています。豊富な経験と実績を持つ教授陣の研究室に全学生が配属され卒業研究を行うのもその一つ。テーマを設定し、実験や実習、文献調査、プレゼンテーションなど実用的な方法で研究を行っています。

全国有数の就職実績

「研究によって身につく実践力」と「一人ひとりへのサポート」で高い就職内定率を実現

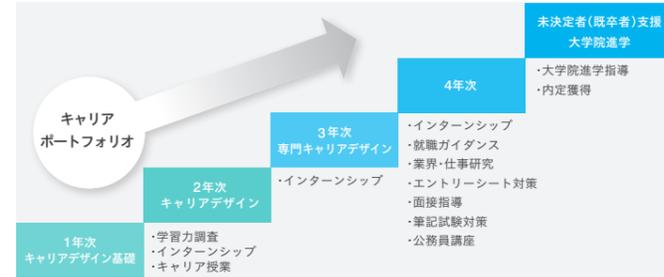
全学部就職内定率 平成28年3月20日調査 全国平均87.8%
※各学部就職内定率 平成28年3月20日現在 ※H27年度就職実績



専門性の高いキャリア形成教育

一人ひとりが理想のキャリア形成を行えるよう、低学年次から既卒者の就職支援までを含めた一貫通貫のキャリア教育を実施しています。個別的かつ継続的な支援により、「ものづくり」のみでなくソフト面における専門性も持ったモチベーションの高い人材を育むと同時に、生涯を通じた持続的な就業力の育成へと繋いでいきます。また社会に出るまでに必要な力を育成するために4年間の学生生活を通して活用するWeb版のシステムである「TCUキャリアポートフォリオ」を用意。日々、能力を発揮した出来事やその時の気持ちなどの記録をつけながら今の自分の力を測定し、どんな出来事がその力を育成したのかを残すことができます。

＜専門性の高いキャリア形成教育＞



超える、つながる、その夢に。

東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

SINCE 1929

大学教育再生加速プログラム (AP)

理想を叶える実践力

成長サポートガイドブック

本学では、文部科学省による事業である、Acceleration Program (AP)*テーマV「卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました(採択率16%)。この事業を通じてみなさんのキャリア形成と、社会で必要とされる能力の獲得を通じた卒業時の質を保証するための取り組みを推進しています。

*Acceleration Program (AP)とは

高等学校や社会との円滑な接続のもと、3つの方針(「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成実施の方針」「入学者受け入れの方針」)に基づき、入り口から出口まで質の伴った大学教育を実現するため、先進的な取り組みを実施する大学等(短大、高専含む)を支援することを目的としているものです。



大学教育再生加速プログラム

東京都市大学のビジョン

80年を超える専門的実践教育の伝統に加えて、「都市」をキーワードに時代の要請に取り組み、国際都市東京で存在感を示す有数の私大を目指す

●ビジョン達成のための中長期計画「アクションプラン2030」

東京都市大学は、「ビジョンー目指す大学像」達成のために、以下の4つのプロジェクトによる中長期計画(施策・事業)を策定しています。計画実現に向けて、教職員が一丸となって推進しています。

- 教育の質保証** グローバル社会で活躍できる人材を育成するためのプログラムとシステムの確立
- キャンパス教育環境向上** 実学教育の伝統を活かした学修環境と世界の学生が集えるキャンパスの実現
- ブランド力向上** 教育研究、環境、運営が連動し醸成される先進感と信頼感あふれる都市大ブランド力の確立
- 大学運営向上** さらなる教育研究の発展を推進する運営体制の確立



ここで身につけた実践力が、 あなたの理想を叶える力となる。

東京都市大学では、社会で活躍できる実践力を育む、独自の教育プログラムによる実践的な学びと様々な正課外活動、あなたのキャリアを培うサポート体制を用意。身につけた実践力で思い切り活躍できる成長を期待するとともにあなたの夢や理想と社会をつないでいきます。

1. 卒業時まで身につけた成果を ディプロマサプリメントで 客観的に提示します

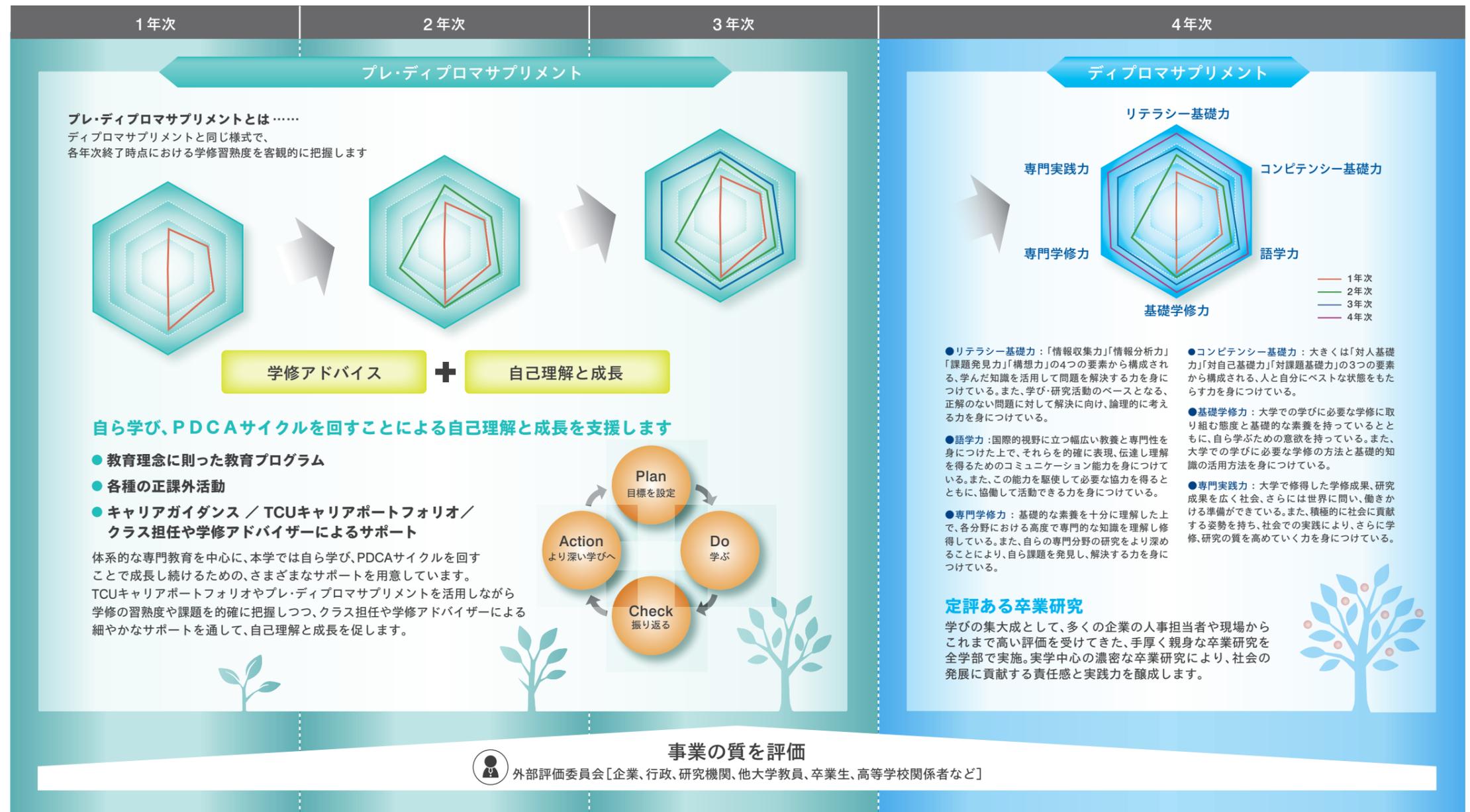
本学が育成する人材像である、「自ら学び、社会の発展に貢献する責任感と実践力を持った人材へ」に基づき体系化された多面的な6つの評価指標によって「ディプロマサプリメント」を開発し、卒業時まで身につけた成果を客観的に社会(企業)へ提示します。

2. 建学の精神と教育理念に則った 教育プログラムで 一人ひとりの成長を支援します

本学では、建学の精神である「公正、自由、自治」を継承し、新しい時代と社会の要請に応える様々なプログラムを用意しています。社会全体を多角的、総合的に見ながら、未来に向けて持続可能(サステナブル)な発展をもたらすための人材育成と学術的研究を進めることを理念に各学部で教育・研究を行っています。

3. 一人ひとりの「学びたい」に応える 丁寧なサポート体制で 自己理解と成長を促します

キャリアガイダンスにおけるディプロマサプリメントの解説、プレ・ディプロマサプリメントの提供、キャリアポートフォリオの活用、個別学修支援体制の強化などによって、一人ひとりが自ら学び、PDCAサイクルを回すことによる自己理解と成長を支援します。



ディプロマサプリメントとは……

ディプロマサプリメントはヨーロッパで導入されている学位の「内容証明書」というべきもので、学修の履歴や時間、達成度、取得資格など共通の様式で記したものです。自分の力を定量的に測定し、目標設定と学びを繰り返します。各能力の目標値は約5000社の企業対象の人材ニーズ調査及び社会人5年目と15年目の計3000人を中心とした卒業生調査の結果を踏まえて設定、客観性を担保しています。



新しい時代と社会の要請に応える 様々なカリキュラムにより、 社会で活躍できる実践力を涵養します。

東京都市大学の教育プログラム・カリキュラムは、建学の精神を継承しつつも、とどまることなく進化を続けています。人の暮らしに寄り添い、時代によって変わっていく様々な課題を技術や研究で解決できるよう、社会で活躍できる実践力を涵養します。

先輩たちの声

充実したカリキュラム・サポートを活用し社会への新たな一歩を踏み出した、先輩たちの声をご紹介します。



コニカミノルタ株式会社
早川綾奈

工学研究科生体医工学専攻2年 東京都國學院大學久我山高校出身

研究室長を務めた経験が採用面接でのPR材料に。

授業の一環で参加した病院実習で、医用画像診断システムの重要性を知り、以前から持っていた「医療機器の開発に携わりたい」という気持ちがさらに高まりました。また、研究室では室長を任せられ、言われたことをするだけでなく、主体的に行動することの大切さや面白さを学びました。そこで興味を持ったのが、医療機器関係に加え、新規事業開拓にも注力しているコニカミノルタ株式会社。授業以外の部分をうまくPRできたことも、内定をいただけた大きな要因だと思います。



ソフトバンク株式会社
杉本大地

工学研究科システム情報工学専攻2年 神奈川県 平塚江南高校出身

都市大だからこそ、好きなことを仕事にしたいという思いが実現できた。

研究室で学んでいる人工知能とネットワークの知識を活かせる企業で働きたい。それが私の就活時の希望でした。最終的にソフトバンクに決めたのは、インターンシップで「若手にも積極的にチャンスが与えられる」ことを実感できたからです。ソフトバンクのインターンシップは実際に部署に配属され、先輩と一緒に実務にあたる完全就労体験型。ネットワーク監視のためのアプリケーション開発に携わる中で、会社の雰囲気や考え方に触れられた経験は、貴重だったと思います。



積水ハウス株式会社
遠藤 翔

都市生活学部都市生活学科4年 神奈川県 横浜市立東高校出身

設計力にプラスしてグループワークで培った人間力が評価された。

文系でありながら建築士受験資格を得られる都市生活学部で、「都市文化」「都市経営」「都市居住」の3分野をもとに、さまざまな観点から「生活」を捉える学びに取り組んできました。設計職で内定をいただいた積水ハウスからは、広い視野で住宅を捉えていることに加え、数々のグループワークで鍛えた協調性やコミュニケーション力についても評価していただきました。都市生活者の視点に立ち、環境に対する計画や新しいコミュニティ形成についても提案していきたいと思っています。



大成建設株式会社
松宮綾香

環境情報学研究科環境情報学専攻2年 福井県 若狭高校出身

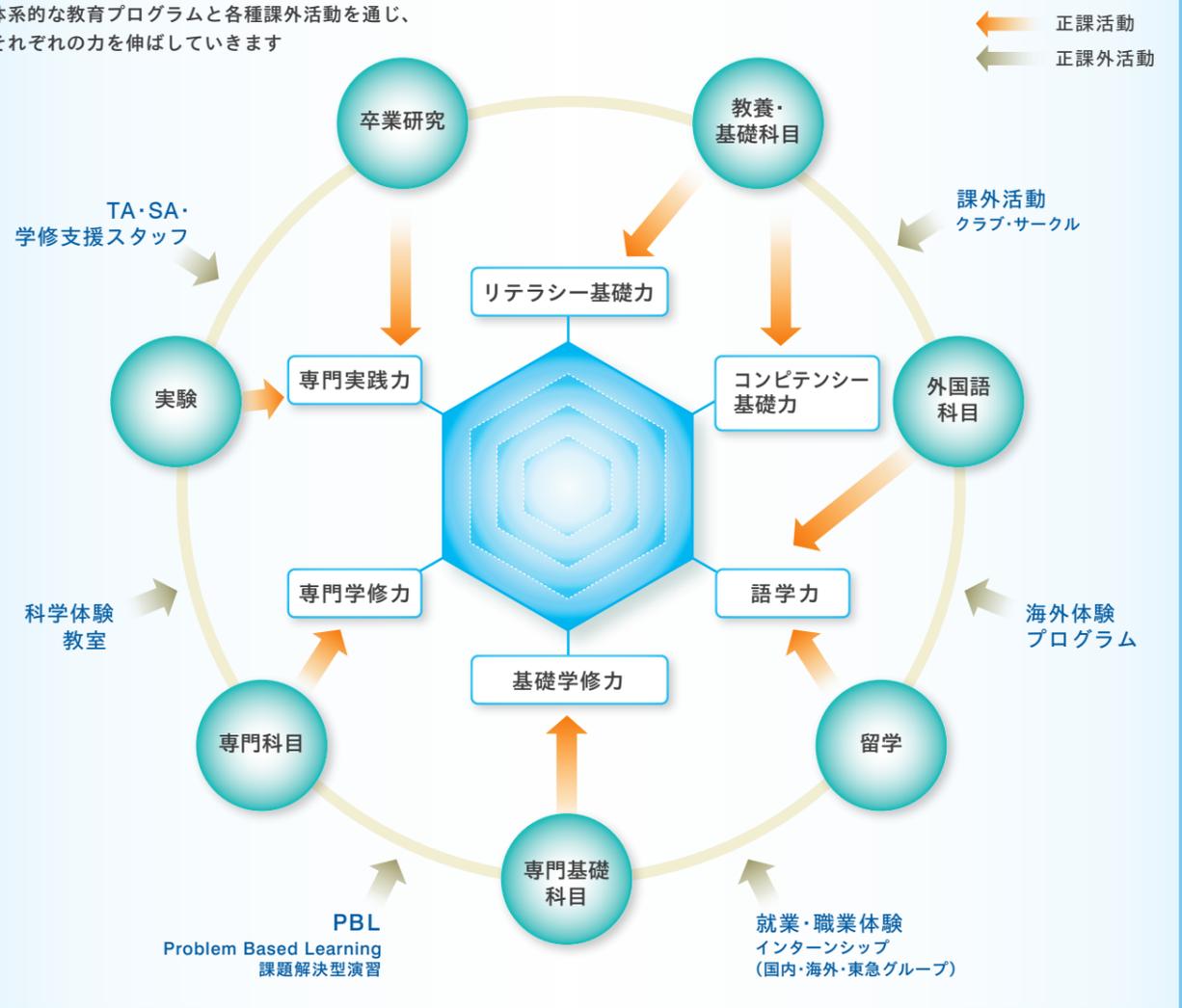
環境への取り組みをビジネスとして成立させるしくみ作りに携わりたい。

研究室では生物多様性オフセット※1などの「生態系の復元や創造」について学んできました。世界では活発に議論されていますが、日本ではまだまだ理解が進んでいない分野です。そんな中、環境経営目標として生物多様性オフセットを掲げていたのが大成建設でした。日本では「環境への取り組み」というと利益を度外視した活動と捉えられることが多く、まだまだ発展途上の領域といえます。入社後は大学での学びを活かし、ビジネスとして成立するようしくみ作りに携わりたいと思っています。

※1 人間の活動が生態に与える負の影響を再生や創出によって代償するしくみ。

ディプロマサプリメント活用を通じた、PDCA学修サイクル

体系的な教育プログラムと各種課外活動を通じ、それぞれの力を伸ばしていきます



上記カリキュラムの学修を促進する取り組み

シラバスの充実、科目ナンバリングや履修系統図を整備し、科目の順次性や科目間の関係を明瞭にしています。

現行の前学期と後学期をそれぞれさらに前半と後半の期間に分割した授業スケジュールであるクォーター制を導入し、短期間に集中して学ぶことや、同じ学年内で最大4段階の学修を可能とすることによって、より高い学修効果が期待できます。

卒業研究に対してルーブリックを導入し、学部教育集大成である卒業研究で客観的な評価指標として活用しています。

各学部の教育・研究の目標

以下のような人材の養成を目標とするカリキュラムを提供しています。ディプロマサプリメントで表される6つの力が涵養されます。

●工学部

「理論と実践」という教育理念に基づき、現実に即した発想のもとに理論的裏付けを持った実践によって、社会の要請に対応できる技術的能力を備えた人材を養成する。

●環境学部

地域から地球規模に及ぶ環境問題を科学的に捉え、持続可能な自然環境や都市環境を創造し、経済システムを環境調和型に転換することによって、持続可能社会の実現に寄与することができる人材を養成する。

●都市生活学部

魅力的で持続可能な都市生活の創造のため、生活者のニーズを構想・企画へと描きあげ、その実現のため事業推進、管理運営を行っていく、企画・実行業務を担う実践力のある人材を養成する。

●知識工学部

21世紀の知識基盤社会において、高度な科学技術知識を有し、これらを総合的に活用できる人材を養成する。

●メディア情報学部

人間社会や、情報通信技術が生み出す新しい情報環境を深く理解し、より良い社会実現に向け、社会的仕組みや情報システムを調査・分析・実現・評価・改善できる人材を育成する。

●人間科学部

いのちを大切に、平和と環境を保持し、人類の持続可能な発展をもたらすため、「健康」、「福祉」、「教育」、「文化」、「環境」について総合的に理解し、その向上に貢献できる豊かな感性としなやかな知性に加え、高い専門性をもった、自立する人材を養成する。

実践力を培う、多彩なプログラム

本学ではディプロマサプリメントで定義された、社会で活躍できる実践力を育み成長を促す、多彩な正課外活動及び各種プログラムを提供しています。

海外体験プログラム

本学独自の多彩な国際人育成プログラムにより、高い専門力を有した真の国際人を育成します

本学は「工学教育の理想」を求める若者たちが開学した大学です。この精神を継承し社会発展をもたらすため人材育成を理念として、新しい時代と社会のニーズに応える大学へと進化します。本学独自の国際人育成プログラムとして多彩なメニューを用意しています。

東京都市大学オーストラリアプログラム

TOKYO CITY UNIVERSITY AUSTRALIA PROGRAM(略称TAP)1年次の準備教育と2年次5ヵ月間の留学を合わせたプログラム。西豪州パースは多様性に富んだ街。多くの外国人と接しながら異文化を理解する力とコミュニケーション力を向上させて、自立した国際人になることが期待されます。

デラサール大学英語研修プログラム

フィリピンの名門デラサール大学と協定を結びました。優れた教育環境のデラサール大学が提供する3週間の英語学習プログラムに参加します。また、研修中は、デラサール大学の学生がパディ(補助学生)としてサポートし、授業以外でも交流の機会があります。週末は、パディと共に、フィールドスタディも行います。

海外学生交流派遣プログラム

STUDY TOUR & EXPERIENCE PROGRAM(略称STEP)海外渡航経験の無い学生に機会を提供したいとの想いからSTEPが立ち上がりました。本学教員が企画し、海外大学を訪問します。期間は1週間ですが、参加した学生達からは、現地の学生達と積極的に交流し初めての海外体験で多くのものを吸収できたとの声が寄せられています。

就業・職業体験 インターンシップ (東急グループ・海外・国内)

実際のビジネス現場で仕事を体験
社会で活躍する実践力と生き抜く力を育みます

一定期間企業の中で研修生として働く制度。本学の特徴としてはグループとしてのメリットを生かした「東急グループインターンシップ」や、費用のおよそ半額の奨学金を給付される「海外インターンシップ」があります。インターンシップで就業を体験したあとは、自分の将来に役立つ科目がわかるなど、大学での学びをより有意義なものにすることができます。

Student's Voice

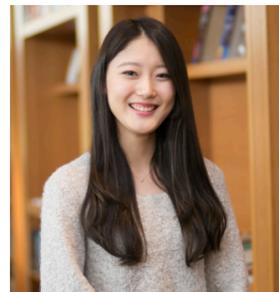
インターンシップを経験してモノづくりへの興味がいよいよ大きくなりました。



東急インターンシップにおける報告会



TAP参加生による自主運営企画 Japan Festival当日の様子



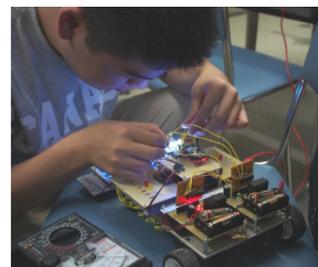
Student's Voice

オーストラリアに留学した最初の一月は、自分の英語力の無さを痛感し、毎日泣いていました。クラスを下げようかと中国人留學生のクラスメートに相談したところ、「私たちは英語を勉強しに来ているのだから、しゃべれないのは当たり前。一緒に勉強したいからクラスに残って！」と言ってくれました。このことは一生忘れられない思い出で、私を変えてくれた一言でした。

課外活動 (クラブ・サークル)

学部学科の枠を超え、未来の財産となる友人とのネットワークを築きます

本学では現在、全学生のうち約60パーセント(延べ数)が課外活動団体へ加入し活動しています。大学側も原則毎週水曜日を課外活動日として全面的にバックアップ。当該日には、キャンパス間を往復する無料シャトルバスを通常より増便しています。普段は離れている3つのキャンパスに通う学生が、同じ団体に活動することができ、別々のキャンパス・団体同士のつながりも自然と生まれます。



電気電子研究会



潜水科学研究会

科学体験教室・コミュニケーター活動

日ごろの研究を活かして、子どもたちのサイエンスマインドや創造性の育成に貢献できます

子どもたちの科学技術や理科に対する関心を高め、学習意欲の向上、創造性や知的な好奇心・探究心の育成を目指した活動を学内外で積極的に推進しています。学生スタッフと教職員スタッフとで協力し「電動レーシングカートに乗ろう!」「水ロケットを作って飛ばそう」といったテーマで、創意工夫をしながら子どもたちの興味や関心、創造力を引き出すコミュニケーターとして活躍します。



科学の面白さを子供とともに学ぶ



「水ロケットを作って飛ばそう」当日の様子

TA・SA・学修支援スタッフのためのリーダーシップ教育

授業や学修を支援するプロジェクトへの参画を通じ、リーダーシップを培います

演習授業のアシスタントである、TA(ティーチングアシスタント)・SA(チュードレントアシスタント)を担当するなかで、自分の指導力や協働力を高め、将来社会で中核的な役割を担うために必要な力を獲得していきます。本学では、このTA・SAをリーダーシップ実践の絶好の機会として捉え、多様な学生が学が総合大学の強みを活かしたリーダーシップ教育プログラムへと発展させることを目指しています。



研修会当日の様子



リーダーシップ基礎を皆で習得

PBL (Problem Based Learning:課題解決型演習)

実際の企業から出された課題解決を通じ、社会人として必要な力と主体性を体得できます

企業が実際に直面している課題を解決する取り組みを通じて、社会で活躍できる実践力を育みます。平成28年度は本学OBが経営者の企業2社の協力で開講しました。まず企業の担当者から実際に直面している課題を出され、それを参加学生はチームで情報収集やグループディスカッションの活動を通して、解決策のアイデアをまとめ、企業の担当者にプレゼンテーションを行う内容です。企業の方からは発表内容に適切なフィードバックをもらえる実践的な授業となっています。

Student's Voice

様々な視点で物事を考え、解決する。将来の仕事につながる貴重な経験ができました。



リアルな企業課題への取り組みを通じて実践的な力を習得

卒業研究

実学中心の濃密な研究により、実践力の獲得と大きな成長を実感できます

本学の卒業生を要する多くの企業の人事担当者や現場からこれまで高い評価を受けてきた、手厚く親身な卒業研究を全学部で実施しています。ときに産官学連携を通じた、実学中心の濃密な卒業研究指導により、大きな成長を遂げることができます。また平成28年度からは客観的な評価指標となるルーブリックによる評価を導入し、より支援体制を強化しています。



定評ある丁寧な研究指導



卒業論文発表会の様子